

宮崎県議会 令和5年9月定例会 代表・一般質問時間割

※ 網掛は教育委員会への質問なし

■ 9月13日（水） 代表質問

順序	会 派	質 問 者	時 間	備考
1	自由民主党	日高 陽一	10:00～12:00	休憩
2	自由民主党	野崎 幸士	13:00～15:00	

■ 9月15日（金） 一般質問

順序	会 派	質 問 者	時 間	備考
5	自由民主党	後藤 哲朗	10:00～11:00	
6	志 誠 会	齊藤 了介	11:00～12:00	休憩
7	自由民主党	山下 寿	13:00～14:00	
8	自由民主党	荒神 稔	14:00～15:00	

■ 9月14日（木） 代表質問

順序	会 派	質 問 者	時 間	備考
3	公 明 党	重松 幸次郎	10:00～11:20	休憩
4	県民連合立憲	岩切 達哉	13:00～14:20	

■ 9月19日（火） 一般質問

順序	会 派	質 問 者	時 間	備考
9	県民連合立憲	山内 佳菜子	10:00～11:00	
10	県民連合立憲	永山 敏郎	11:00～12:00	休憩
11	自由民主党	本田 利弘	13:00～14:00	
12	自由民主党	日高 利夫	14:00～15:00	

■ 9月20日（水） 一般質問

順序	会 派	質 問 者	時 間	備考
13	公 明 党	坂本 康郎	10:00～11:00	
14	未 来 の 会	内田 理佐	11:00～12:00	休憩
15	無 所 属 の 会	図師 博規	13:00～14:00	

【主な質問について】

- 市町村教育委員会 ※No. 26～28
 (齊藤了介議員「県教育委員会と市町村教育委員会の関係性とそれぞれの役割について伺いたい。」など)
- 特別支援（特別支援／インクルーシブ教育） ※No. 40～45
 (図師博規議員「通知（特別支援学級及び通級による指導の適切な運用に係る文部科学省通知）の趣旨を実現するために、県は市町村と連携して、どのような取組を行うか伺いたい。」など)
- 読書・図書 ※No. 34～39
 (山内佳菜子議員「県立図書館の収蔵能力の現状と、今後の対応について伺いたい。」など)

など

宮崎県議会 令和5年度定例会における本会議答弁件数

	6月		9月		11月		2月		計	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
教育政策課	3	1	6	7	2		2		13	
財務福利課	2	3	2	4	4		3		11	
高校教育課	9	4	6	6	8		7		30	
義務教育課	5	6	11	4	5		2		23	
特別支援教育課	2	3	2	6	6		0		10	
教職員課	4	4	7	6	3		5		19	
生涯学習課	2	4	1	6	0		0		3	
スポーツ振興課	6	7	10	4	8		11		35	
競技力向上推進室	4		2		0		5		11	
文化財課	2	0	2	3	1		1		6	
人権同和教育課	8	9	8	7	16		9		41	
計	42	39	52	53	49		45		188	
	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)	(実答弁数)

※ 計に（実答弁数）と記載してある議会は、1つの答弁を複数の課で担当したものがあつたため、各課室の合計と計（実答弁数）が一致しない。

令和5年9月定例会 質問の概要(キーワード順)

NO	キーワード	質問者	党派	問 い の 概 要	担当課室
1	ICT活用	日高 陽一	自由民主党	本県における教員のICT活用指導力について現状を伺いたい。	教育政策課
2	ICT活用	日高 陽一	自由民主党	学校におけるICT環境整備の現状と今後の課題について伺いたい。	教育政策課
3	ICT活用	後藤 哲朗	自由民主党	県教育委員会における情報モラル教育の取組について伺いたい。	教育政策課
4	課外指導	岩切 達哉	県民連合立憲	朝課外の継続は時代にそぐわないと考えるが、県立高校における朝課外についての教育長の考えを伺いたい。	高校教育課
5	神楽	日高 陽一	自由民主党	神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けた進捗状況について伺いたい。【知事】	文化財課
6	学力	日高 陽一	自由民主党	全国学力・学習状況調査の結果から、「学びに向かう力」を育成することが大切だと考えるが、教育長の見解を伺いたい。	義務教育課
7	学校給食・食育	荒神 稔	自由民主党	学校給食費の無償化における県内の状況と県の取組について伺いたい。	スポーツ振興課
8	学校給食・食育	山内 佳菜子	県民連合立憲	(株)ホーユーの業務停止に伴う、特別支援学校における県の対応について伺いたい。	財務福利課
9	学校施設・整備	日高 陽一	自由民主党	宮崎海洋高校実習船第6代進洋丸の現在の活用状況と今後の利活用について伺いたい。	高校教育課
10	学校施設・整備	岩切 達哉	県民連合立憲	小中学校の体育館におけるトイレの洋式化の状況について伺いたい。	財務福利課
11	学校施設・整備	坂本 康郎	公明党	県内の公立学校の体育館におけるエアコンの設置状況について伺いたい。	財務福利課
12	学校施設・整備	坂本 康郎	公明党	緊急防災・減災事業債の活用を積極的に行い、避難所である体育館にエアコンの設置を進めた方がよいと考えるが、見解を伺いたい。	財務福利課
13	キャリア教育／ 職業教育／ 進路指導	齊藤 了介	志誠会	本県で農業を学ぶことができる県立高校の数及びその生徒数について、並びに定員を満たしているのか伺いたい。併せて、これらの学校の令和4年度卒業生のうち、農業関連の就職、進学をした生徒の数及び県内、県外別の割合を伺いたい。	高校教育課
14	キャリア教育／ 職業教育／ 進路指導	坂本 康郎	公明党	普通科高校の生徒に対して、職場体験や企業見学会を実施することについて教育長の見解を伺いたい。	高校教育課
15	教育相談	岩切 達哉	県民連合立憲	一人一台端末を活用した県内の教育相談の状況について伺いたい。	人権同和教育課
16	教育理念・ 抱負	日高 陽一	自由民主党	子どものウェルビーイングを実現するためには教師のウェルビーイングの実現が必要であると考えるが、教育長の考えを伺いたい。	教職員課
17	教育理念・ 抱負	齊藤 了介	志誠会	知事の教育に対する思いを伺いたい。【知事】	教育政策課
18	教員採用	齊藤 了介	志誠会	子どもに対する愛情や情熱をもった教員を採用するための工夫と、採用後の教員の資質向上に向けた取組について伺いたい	教職員課
19	教員採用	日高 陽一	自由民主党	教師の人材確保が困難な状況となっているが、教員採用試験における受験者数の状況について伺いたい。	教職員課
20	教員採用	日高 陽一	自由民主党	教師のなり手不足の要因について伺いたい。	教職員課
21	教員採用	日高 陽一	自由民主党	その(教員のなり手不足の)要因を踏まえた、教師のなり手不足解消に向けての取組について伺いたい。	教職員課
22	高校教育 整備計画	荒神 稔	自由民主党	県内の工業高校において、建築や土木など総合的に学べるような学科を増やすことができないか伺いたい。	高校教育課
23	校則	日高 陽一	自由民主党	校則の在り方が社会的に話題となっているが、校則見直しの現状について伺いたい。	人権同和教育課
24	国際教育	齊藤 了介	志誠会	農業先進国に本県で農業を学ぶ高校生を留学させる考えはないか伺いたい。	高校教育課
25	自殺対策	岩切 達哉	県民連合立憲	こどもの自殺対策に関し、県としてどのように取り組むのか伺いたい。	福祉保健課 人権同和教育課
26	市町村 教育委員会	齊藤 了介	志誠会	県教育委員会と市町村教育委員会の関係性とそれぞれの役割について伺いたい。	教育政策課
27	市町村 教育委員会	齊藤 了介	志誠会	(予想再質)教育現場の課題解決に向けて、県教育委員会が市町村教育委員会を引っ張っていく姿勢も必要だと考えるが、教育長の考えを伺いたい。	教育政策課

NO	キーワード	質問者	会派	問 い の 概 要	担当課室
28	市町村教育委員会	齊藤 了介	志誠会	教育現場の課題解決に向け、県教育長と市町村教育長が議論する場があるのか伺いたい。	教育政策課
29	疾病対策	野崎 幸士	自由民主党	学校における熱中症の現状と対策について伺いたい。	スポーツ振興課
30	人権教育／LGBT	山内 佳菜子	県民連合立憲	性的マイノリティの児童生徒から相談があった場合の対応について、マニュアル等の作成は進んでいるのか、また、当事者の声は反映されているのか伺いたい。	人権同和教育課
31	新聞配備	荒神 稔	自由民主党	NIEの全国大会や県大会が開催されたが、どのような効果が期待されるのか伺いたい。	義務教育課
32	新聞配備	荒神 稔	自由民主党	県教育委員会として、NIEの良さをどのように広げていこうとしているのか伺いたい。	義務教育課
33	体力向上	内田 理佐	未来の会	県内の児童生徒の身長と体重の状況について伺いたい。	スポーツ振興課
34	読書・図書	日高 陽一	自由民主党	読書の推進について、県の取組状況を伺いたい。	生涯学習課
35	読書・図書	岩切 達哉	県民連合立憲	みやざき読書アンバサダーに期待する役割について伺いたい。	生涯学習課
36	読書・図書	山内 佳菜子	県民連合立憲	県立図書館の施設設備について、老朽化の状況を伺いたい。	生涯学習課
37	読書・図書	山内 佳菜子	県民連合立憲	県立図書館における資料の保存状況について伺いたい。	生涯学習課
38	読書・図書	山内 佳菜子	県民連合立憲	県立図書館の収蔵能力の現状と、今後の対応について伺いたい。	生涯学習課
39	読書・図書	山内 佳菜子	県民連合立憲	「知の拠点」である県立図書館の役割の認識と、今後の施設整備について伺いたい。【知事】	生涯学習課
40	特別支援	山内 佳菜子	県民連合立憲	特別支援学校の登校時間を早めることはできないか伺いたい。	特別支援教育課
41	特別支援	山内 佳菜子	県民連合立憲	訪問教育学級の現状について伺いたい。	特別支援教育課
42	特別支援	山内 佳菜子	県民連合立憲	訪問教育学級において、オンライン対応等により授業時間を増やすことはできないか伺いたい。	特別支援教育課
43	特別支援／インクルーシブ教育	図師 博規	無所属の会	特別支援学級の設置数及び在籍児童生徒数について伺いたい。	特別支援教育課
44	特別支援／インクルーシブ教育	図師 博規	無所属の会	特別支援学級及び通級による指導の適切な運用に係る文部科学省通知の趣旨と、趣旨が正しく伝わるための取組を伺いたい。また、学校現場では、どのような変化がみられたか伺いたい。	特別支援教育課
45	特別支援／インクルーシブ教育	図師 博規	無所属の会	通知（特別支援学級及び通級による指導の適切な運用に係る文部科学省通知）の趣旨を実現するために、県は市町村と連携して、どのような取組を行うか伺いたい。	特別支援教育課
46	日本語指導	日高 陽一	自由民主党	日本語指導が必要な児童生徒への支援の現状と今後の対応について伺いたい。	義務教育課
47	働き方改革	日高 陽一	自由民主党	学校における働き方改革の今後の取組について伺いたい。	教職員課
48	部活動	齊藤 了介	志誠会	県立高校の部活動における練習環境の整備について、どのように進めているか伺いたい。	スポーツ振興課
49	不登校	日高 陽一	自由民主党	不登校児童生徒数が増加傾向にある中、特に小学生の増加の割合が顕著であると聞いているが、その現状と対策について伺いたい。	人権同和教育課
50	不登校	後藤 哲朗	自由民主党	義務教育における不登校の子どもたちへの支援について、県内の状況を伺いたい。	人権同和教育課
51	文化財	内田 理佐	未来の会	西南戦争の遺跡に関するこれまでの取組について伺いたい。	文化財課
52	文化財	内田 理佐	未来の会	西南戦争終結150年目となる令和9年度に向けた取組について伺いたい。	文化財課
53	防災・安全教育	日高 陽一	自由民主党	自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務となっているが、高校生のヘルメット着用の現状と学校の取組について伺いたい。	人権同和教育課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課	
1	ICT活用	本県における教員のICT活用指導力について現状を伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5 9	<p>本県におけるGIGAスクール構想に基づく1人1台端末の活用がスタートして、3年目を迎えますが、これまでモデル授業の公開や教員の能力に応じた研修を実施したことにより、本県教員のICT活用指導力は、県の調査においても、着実に向上しております。</p> <p>一方で、各学校での取組状況の違いや進級・進学による学びの継続の課題等が見えてきたことから、今年度は、県内を7つのエリアに分け、小・中・高・特別支援学校の垣根を越えた、ICT教育エリアミーティングを新たに実施し、情報の共有と改善への研修を行っております。</p> <p>今後とも宮崎県「教育の情報化」推進プランに基づき、教員の指導力の向上にしっかり取り組んでまいります。</p>	教育政策課	
2	ICT活用	学校におけるICT環境整備の現状と今後の課題について伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5 9	<p>1人1台端末や高速大容量の通信ネットワークの導入によって学校における環境整備は、ほぼ計画どおりに進んでおります。これまで市町村によって様々な環境にあった校務を支援するシステムも整ってきたところであります。</p> <p>現在、市町村からは、端末の更新費用やライセンス料等の維持管理費について、その負担を国に働きかけるよう随時要望を受けております。</p> <p>県教育委員会といたしましては、これらのICT環境整備費に係る財政措置を引き続きあらゆる機会を捉えて、国に要望してまいります。</p>	教育政策課	
3	ICT活用	県教育委員会における情報モラル教育の取組について伺いたい。	後藤 哲朗	自由民主党	R5 9	<p>県教育委員会では、これまで情報モラルに関するリーフレットの作成や学校へのIT専門家の派遣等に取り組んでまいりました。</p> <p>また昨年度は、モデル校を指定し、情報モラル教育の研究と授業公開を行い、SNS等における正しい情報の見極め方や言葉の感じ方が人によって異なること等について、わかりやすく学べる教材「GIGAワークブックみやざき」を小学生向けと中高校生向けに分けて作成し、県内の公立学校に配付いたしました。</p> <p>さらに、今年度からリーフレットを私立学校も含めた県内全ての児童生徒を対象に、毎月テーマを変えて配付するとともに、IT専門家に加え、学校の現状に精通した事務局職員を派遣する等、取組の充実を進めているところであります。</p>	教育政策課	
4	課外指導	朝課外の継続は時代にそぐわないと考えるが、県立高校における朝課外についての教育長の考えを伺いたい。	岩切 達哉	県民連合憲	R5 9	<p>朝課外は、保護者からの要請を受けて希望制で実施しておりまして、その実施については、PTA総会で承認を得ることや教科書の内容を進めないことなどを校長とも確認しているところであります。</p> <p>朝課外についてはこれまでも、生徒の進路実現の支援や経済的な負担軽減など一定の役割を果たしてきたものの一方で、社会情勢の変化もあり、実施についてはさまざまなご意見があることも、認識しております。このような中、今年度は高等学校等37校のうち19校の実施となっております。</p> <p>今後とも生徒の学習環境の多様化や教員の働き方改革の観点を踏まえ、生徒の学習習慣の確立につながる取組やICT活用等を含めた学習支援の方法について一層議論を深めてまいります。</p>	高校教育課	
5	神楽	神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けた進捗状況について伺いたい。 【知事】	日高 陽一	自由民主党	R5 9	<p>神楽のユネスコ無形文化遺産の登録に向けまして、昨年10月、本県が提唱しまして、「全国神楽継承・振興協議会」を設立しております。この取組に賛同する動きが全国で広がっておりまして、現在、国指定の40の神楽のうち、約9割の35の神楽が加入をいただいております。先月、2回目の総会を開いて、登録に向けた結束を一層強めたところであります。</p> <p>私自身、5月に国へ早期登録につきまして要望を行うとともに、今月4日にも、この協議会の会長であります高千穂神社の後藤宮司とともに京都の文化庁に伺いまして、都倉長官に宛てた要望を行ってまいりました。</p> <p>また昨日、神社関係の全国大会で来県をされました、参議院議員の山谷えり子議員、有村治子議員、これまでもこの運動に向けて力強く御支援をいただいておりますが、現在の状況について御報告を申し上げ、さらなるお力添えをお願いをしたところであります。様々な立場の皆様から、この理解をいただき、強力に応援をいただくこと、これが必要であろうかと考えております。</p> <p>今後、来年3月にユネスコへ提案をされることを目指しまして、文化庁にも後押しをいただきながら、残る5つの未加入神楽への働きかけを重ねるとともに、宮崎県人会世界大会など、あらゆる機会を活用して、県内外に登録の意義を広く伝え、さらなる機運の醸成を図ってまいります。</p> <p>神楽を大切に守り伝えてこられたすべての人々の勇気や活力につながるようユネスコ登録の実現に向けて、より一層、邁進をしてまいります。</p>	文化財課	★
6	学力	全国学力・学習状況調査の結果から、「学びに向かう力」を育成することが大切だと考えるが、教育長の見解を伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5 9	<p>本年度の調査結果から、自ら課題の解決に取り組んだり、他者と学び合ったりする児童生徒ほど、教科の正答率も高く、議員のご指摘にもありましたとおり、子供たちの「学びに向かう力」の育成が重要であると捉えております。</p> <p>県教育委員会といたしましては、今年度より「ひなたの学び」として問いをもつこと、仲間と学び合うこと、深く考えることを、目指す子供の学びの姿と整理し、授業改善等に取り組んでいるところであります。今後も、市町村教育委員会をはじめ、学校や家庭、地域等が一体となって幼稚園から高校、特別支援学校までの全ての学びの場において「学びに向かう力」の育成を推進してまいります。</p>	義務教育課	

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課	
7	学校給食・食育	学校給食費の無償化における県内の状況と県の取組について伺いたい。	荒神 稔	自由民主党	R5	9	今年度の市町村を対象に実施した調査では、学校給食の実施主体であります市町村において、26市町村中、7町村が実質無償化となる全額補助を行っております。 5月には、市町村担当者会を開催し、現段階での給食費補助の情報提供や今後の各市町村の取組について、情報交換等を行いました。 また、本県で開催した九州地方教育長協議会におきましても交付金による一時的な措置ではなく、長期的な視点での切れ目のない支援について協議し、8月に、国へ要望を行ったところであります。現在、国では学校給食費の無償化の実態調査と課題の整理が進められておりますので、今後とも国への働きかけを行うとともに、動向を注視してまいります。	スポーツ振興課
8	学校給食・食育	(株)ホーユーの業務停止に伴う、特別支援学校における県の対応について伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	9	ホーユーの業務停止に伴い、影響を受けた特別支援学校は5校であり、今回の事態を受け、各学校で保護者説明会を行った後、学校とホーユーとの契約は県教育委員会により9月9日付で解除いたしました。 契約解除直後は、5校ともに給食を停止し、弁当などで対応しておりましたが、順次給食を再開し、本日まで完全に全校で給食を再開しております。なお、給食業務を行う調理員につきましては、新たな委託業者との契約が決定するまで、県で直接雇用することとしております。 特別支援学校の給食は、刻み食やペースト食にするなど、より慎重な対応が必要であるため、今後とも各学校と連携し、児童生徒に安全安心な給食を提供できるよう努めてまいります。	財務福利課
9	学校施設・整備	宮崎海洋高校実習船第6代進洋丸の現在の活用状況と今後の利活用について伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5	9	第6代進洋丸は、多くの関係の皆様のご協力を得て無事竣工いたしました。心より感謝申し上げます。4月の竣工式以来、生徒の乗船実習を7回行い種子島や神戸などに寄港いたしました。現在は62日間に亘る長期乗船実習を行っておりましてハワイへの寄港を予定しております。 そのほか、5月にNTTドコモと連携して海上の基地局としての防災訓練を実施し、また、6月からは小学生をはじめとして一般の方を対象とした海に親しむための多目的航海を14回実施したところであります。 今後は、通常の乗船実習に加えて、他の高校や大学等と連携した海洋環境調査等にも取り組むこととしております。これからも、本県の海洋産業を担う人材の育成はもちろん、より一層県民の船としての役割も果たせるよう取り組んでまいります。	高校教育課
10	学校施設・整備	小中学校の体育館におけるトイレの洋式化の状況について伺いたい。	岩切 達哉	県民連合立憲	R5	9	本県の公立小中学校の体育館におけるトイレの洋式化率につきましては、県教育委員会が把握しているところでは令和5年9月の時点で約47%となっております。 議員御指摘にありました小中学校の体育館については、避難所として使用する可能性が高いため、体育館にあるトイレの洋式化は大変重要であると認識しております。 県教育委員会といたしましては、引き続き、設置者である市町村と連携して学校施設整備に関する必要な支援を実施してまいります。	財務福利課
11	学校施設・整備	県内の公立学校の体育館におけるエアコンの設置状況について伺いたい。	坂本 康郎	公明党	R5	9	県内では体育館等にエアコンを設置している公立学校の数は、文部科学省の調査では、令和4年9月現在、小学校7校、中学校4校、高等学校1校であります。 なお、高等学校の1校につきましては、体育館に類する小規模な部活動支援施設であります。 また、設置率になおしますと、約3%であります。	財務福利課
12	学校施設・整備	緊急防災・減災事業債の活用を積極的に行い、避難所である体育館にエアコンの設置を進めた方がよいと考えるが、見解を伺いたい。	坂本 康郎	公明党	R5	9	公立学校の体育館につきましては避難所として使用する可能性が高いため、環境を整備することは大変重要であると認識しております。また、確かに、議員の御指摘にありましたとおり、緊急防災・減災事業債は、県や市町村の負担が少ない制度であります。 しかしながら、体育館のエアコンの設置につきましては、体育館が大空間を有し、断熱性能が低いといった建物の特性からくる技術的な制約や多大な費用を要することなど、様々な課題もあります。 したがって、県立学校におきましては、他県の事例を参考にしながら、どのような対応ができるのか必要な研究をしてまいります。併せて、市町村に対しては、会議や研修会等において、随時、情報を提供してまいります。	財務福利課
13	キャリア教育 ／職業教育 ／進路指導	本県で農業を学ぶことができる県立高校の数及びその生徒数について、並びに定員を満たしているのか伺いたい。併せて、これらの学校の令和4年度卒業生のうち、農業関連の就職、進学をした生徒の数及び県内、県外別の割合を伺いたい。	齊藤 了介	志誠会	R5	9	本県で農業を学ぶことのできる県立高校は8校ありまして、令和5年5月1日現在の生徒総数は、1,610名であります。 定員を満たしている学校や学科もありますが、定員充足率は約75%となっております。 議員のご質問にありました農業に関連する進路につきましては、令和4年度卒業生578名のうち、就職は137名で、うち、農業法人による雇用を含めた就農は20名となっております。農業関連の大学や専修学校等への進学は113名となっております。合計しますと、約43%の生徒が、農業関連への就職または進学をしております。 このうち、就農も含めた就職では、県内が77%、県外が23%、進学では、県内が76%、県外が24%となっております。	高校教育課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課
14	キャリア教育 ／職業教育 ／進路指導	普通科高校の生徒に対して、職場体験や企業見学会を実施することについて教育長の見解を伺いたい。	坂本 康郎	公明党	R5 9	<p>学校におきましては、学校の方から直接職場や企業に赴く職場体験や企業見学会を実施しておりまして普通科高校の生徒が職場体験や企業見学会に参加し、地元企業の魅力を知ることが、大学等卒業後、県内就職を選択するきっかけとなる、大変有意義なものとして認識しております。</p> <p>現在、職場体験や企業見学会は、すべての職業系高校で実施しておりますが、普通科高校20校におきましては、クラスや学校での一斉参加による職場体験が7校、企業見学会は8校の実施となっております。また、すべての普通科高校におきまして、保護者や卒業生による職業講話を実施したり、希望する生徒が、医師体験や看護体験等に参加したりしております。</p> <p>今後とも、これらの取組に加えまして、県の職業体験ガイダンス等を活用しながら、普通科高校の生徒が地元企業を理解する機会をつくってまいります。</p>	高校教育課
15	教育相談	一人一台端末を活用した県内の教育相談の状況について伺いたい。	岩切 達哉	県民連立憲	R5 9	<p>各学校では、一人一台端末を活用した健康観察や学校生活アンケートなどが行われてその結果を教育相談につなげております。</p> <p>県教育委員会でもスマートフォン等から相談できる窓口を開設しその窓口につながるバーコードを記載したカードを全ての児童生徒に配付しております。</p> <p>端末からの相談も含めて、多くの相談が寄せられておりまして教育委員会へメールで相談できる「ひな子どもネット相談」には昨年度、1,500件を超えるアクセスがありました。</p> <p>また、今年度開設した臨床心理士等の専門の相談員が対応する「宮崎県子どもSNS相談」にも現在、900件に迫る登録がございます。</p> <p>今後も窓口の周知に努め、子ども達の悩みに適切に対応できるようしっかりと取り組んでまいります。</p>	人権同和教育課
16	教育理念・抱負	子どものウェルビーイングを実現するためには教師のウェルビーイングの実現が必要であると考えますが、教育長の考えを伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5 9	<p>学校における子どものウェルビーイングとは、子どもたちが、自らの存在と成長を実感し、いきいきと学校生活を送ることと考えております。</p> <p>また、その実現のためには、議員ご指摘にありましており、私も、教師のウェルビーイングの実現が欠かせないと考えております。</p> <p>教師のウェルビーイングは、まずは、教師自身が心身ともに健康で、公私において充実した生活を送ることが必要であり、さらに、教師の仕事に誇りと生きがいを持って取り組むことで、実現できるものだと考えております。</p> <p>ウェルビーイングの実現により、子どもも教師も毎日、いきいきと学校の門をくぐることができる、それが、私の願いでもあります。</p> <p>そのためにも、学校における働き方改革にしっかりと取り組んでまいります。</p>	教職員課
17	教育理念・抱負	知事の教育に対する思いを伺いたい。【知事】	齊藤 了介	志誠会	R5 9	<p>教育というものは、これは大きく捉えると、悠々の時を経て、培われた人類の英知をその存亡をかけて、次の世代へと託す営みであろうかと考えております。</p> <p>また、私たち一人一人にとりましては、多様な個性や能力を輝かせ、人生を豊かにするとともに、あらゆる世界の知見を得る鍵と、そして、未来を切り拓く力を与えるとそういう重要な役割を果たしていると考えております。</p> <p>自分自身が受けてきた教育、そして、アメリカで学んだ留学の経験、さらには、3人の子どもたちを育てたそういった経験からそのような教育の力というものを感ずるところでありますし、年を取れば取るほど、また、知事として年数を経れば経るほど教育の大切さ、人づくりの大切さと言うことを痛感しております。</p> <p>私は危機管理について語るときに、長岡藩の教えである「常在戦場」を参考に、「常在危機」の意識を徹底していこうということと呼びかけておりますが、長岡藩には米百俵の故事がございます。窮乏する長岡藩に支援策として届けられた米百俵。これを食べてしまうとそれで終わりですが、それを教育に充てることによって、明日の一万俵、百万俵になる。教育の大切さを語るのにこれほどの確に表している故事はないなというふうに思いますし、今、我々が我慢してでも、その教育という将来、未来への投資に充てることによって、未来を切り拓いていこうというすばらしい姿勢だと考えておりますし、先ほど議論があった森林、林業を支えるこれを木を植える営みにも相通するものがあるのではないかなということを感じております。</p> <p>そのような思いがあったかどうか分かりませんが、若山牧水が、子の成長を若竹に例えた歌があります。「若竹の 伸びゆくごとく 子ども等よ 真直ぐに伸ばせ身をたましひを」これはすばらしい歌だなと思っておりますし、それを支えるような教育でなければならぬということも感じておるところであります。</p> <p>就任しましてから毎年、小中学校や特別支援学校を訪れて、私自身が授業を行う「知事の白熱教室」というものを行っておりまして、いつも子どもたちの姿、はつらつとした姿や笑顔に元気づけられておりまして、改めて、子どもは地域の宝、社会の希望であることを感じております。</p> <p>希望ある、未来の世界や日本、そして、宮崎県を築いていくための最大の財産は、「人」である。そのような認識のもとに、これからも人づくりに力をいれてまいります。</p>	教育政策課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課	
18	教員採用	子どもに対する愛情や情熱をもった教員を採用するための工夫と、採用後の教員の資質向上に向けた取組について伺いたい	齊藤 了介	志誠会	R5	9	今年度の教員採用選考試験では、一次試験におきまして、関係法令や専門性等を問う筆記試験を実施いたしました。また、二次試験におきましては、指導力や使命感、社会性等を評価する模擬授業と個人面接に加え、コミュニケーション力や人間性等を多面的に評価するグループワークを実施しております。これらを通して、人間の魅力にあふれた教員の採用を目指しております。採用後につきましては、経験年数などに応じた研修や、教員同士で学びあうメンター制度を実施するとともに、今年度からは、新たな研修制度のもと、教員の主体性と管理職との対話を重視しながら、資質能力の一層の向上を図っております。	教職員課
19	教員採用	教師の人材確保が困難な状況となっているが、教員採用試験における受験者数の状況について伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5	9	本県における教員採用選考試験の受験者数につきましては、全国と同様、年々、減少傾向にありまして、県教育委員会におきましては、この現状を、大変重く受け止めているところであります。今年度、実施いたしました教員採用試験では、363人の募集人員に対し、受験者数は、1012人となっております。過去、受験者数が最も多かった平成23年度実施の1701人と比較しますと、約700人の減少となっております。	教職員課
20	教員採用	教師のなり手不足の要因について伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5	9	本県の採用試験における受験者数減少の状況を分析しますと、受験者に占める新規卒者の数はほぼ変わらないものの、既卒者の数は、大幅に減少しております。これは、平成24年度以降、定年退職者が増加したことに伴う採用枠の拡大で、講師等が順次、正式採用となり、更には、平成31年度の年齢制限撤廃で、幅広い年齢層における講師等の正式採用が一気に進んだことが、主な要因であると考えております。また、教員免許保有者の中に、教師という仕事に不安をもち、受験に至らない者が一定数いることも要因の一つと考えております。	教職員課
21	教員採用	その(教員のなり手不足の)要因を踏まえた、教師のなり手不足解消に向けての取組について伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5	9	議員ご指摘にありますように、まずは、宮崎で教師をめざす人材を確実に確保するため、宮崎大学との連携で「県教員希望枠」が拡大されたところであります。また、本県教育の将来を担う、中・高校生に対して、教師の魅力・夢に関して語り合う場として、「ひなた教師ドリームカフェ」を開催する等、教師の魅力発信に取り組んでおります。さらに、教員免許を持っていないながら教職に就いていない方々に対しまして、教師の仕事に対する不安を解消するための説明会を新たに実施いたしました。なお、次年度の採用試験は、少しでも早く合格通知が出せるように、試験日程を九州各県とも調整いたしまして、3週間前倒しする予定であります。今後とも、優秀な人材を一人でも多く確保できるよう取り組んでまいります。	教職員課
22	高校教育整備計画	県内の工業高校において、建築や土木など総合的に学べるような学科を増やすことができないか伺いたい。	荒神 稔	自由民主党	R5	9	本県高等学校教育につきましては令和3年3月策定の「宮崎県立高等学校教育整備基本方針」におきまして令和10年度までの在り方を多方面からの様々なご意見をたまわりそれらをとりまとめて示してありまして現在、それに基づいた魅力ある高等学校づくりを推進しているところであります。その中で、工業も含めた専門学科の学びにつきましては、可能な限り学科を維持することとしてありまして、専門性の深化を図るための学びができるよう努めております。一方で、議員ご指摘の学科の今後の在り方につきましては近年のコロナ禍の影響や不透明な国際情勢、本県が直面する人口減少等諸課題を踏まえることが大切でありまして、そのときどきの社会情勢や保護者・地域のニーズなどを適切に把握していく必要があると考えております。	高校教育課
23	校則	校則の在り方が社会的に話題となっているが、校則見直しの現状について伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5	9	県教育委員会では、令和2年度以降、県立学校に対して、校則の見直しに関する通知文やそのポイントをまとめた資料を紹介し、積極的に見直しを進めるように指導してまいりました。各学校では、学級活動や生徒総会など様々な場面で、校則についての話し合いを行っております。その過程において、保護者アンケートをもとに、生徒と教師で協議した内容をPTA役員会や学校評議員会等で示し、意見をいただくなど、現在も髪型や服装に関する見直しは進められております。県教育委員会といたしましては、引き続き、校則の見直しを通じて、生徒のよりよい成長・発達につなげてまいります。	人権同和教育課
24	国際教育	農業先進国に本県で農業を学ぶ高校生を留学させる考えはないか伺いたい。	齊藤 了介	志誠会	R5	9	G7宮崎農業大臣会合における「高校生の提言」プロジェクトでは、本県の高中生が、現在学んでいる学科を超えて、農業の未来について直接語り合い、互いに理解し合い、提言に反映する頼もしい姿がありました。その成果を生かすべく、今年度取り組んでおります「世界と繋がろう！高校生海外留学支援事業」では、地域や県内企業を支援、宮崎から世界へ挑戦するグローバル人材の育成を目指して、事業の推進に、鋭意取り組んでいるところであります。農業先進国への留学につきましては、受け入れ等の条件が、現在は、十分に整っていないことから、現時点では、情報を収集している段階にありますが、その意義は、大変大きいと考えております。	高校教育課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課		
25	自殺対策	こどもの自殺対策に関し、県としてどのように取り組むのか伺いたい。 【福祉保健部長】	岩切 達哉	県民連合立憲	R5	9	本県では、知事を本部長とした各部局長による自殺対策推進本部会議や学識経験者、こども関係団体代表者等からなる自殺対策推進協議会を開催し、こどもの自殺を含む総合的な自殺対策について議論しております。 また、宮崎県自殺対策行動計画において、子ども・若者に対する支援を施策のひとつに位置づけ、スクールカウンセラーの配置、電子メールやSNSによる相談対応、教職員に対し児童生徒が発するSOSの受け止め方に関する研修等に 取り組んでおります。 議員御指摘のとおり全国的にこどもの自殺者数が増加傾向でありますことから、若年層の相談内容の傾向も踏まえながら、今後とも、こどもの自殺対策にしっかりと取り組んでまいります。	福祉保健課 人権同和教育課	◎
26	市町村教育委員会	県教育委員会と市町村教育委員会の関係性とそれぞれの役割について伺いたい。	齊藤 了介	志誠会	R5	9	法におきましては、県教育委員会は、市町村教育委員会に対しまして、必要な指導、助言等を行うことで、教育行政サービスの向上を図ることとされております。 また、県の教育振興基本計画等を策定し、それらに基づき、県全体の教育施策を推進することが求められております。 市町村におきましては、こうした県の方針等を踏まえつつ、地域の実情に応じた特色ある施策に主体的に取り組むことが求められております。 今後も、各市町村の自主性を尊重しつつ、互いに連携しながら、県全域でよりよい教育の推進に取り組んでまいります。	教育政策課	
27	市町村教育委員会	県教育委員会は、市町村教育委員会を統治できるという捉えてよいか伺いたい。	齊藤 了介	志誠会	R5	9	今、申し上げましたように、県の教育委員会は、市町村教育委員会に対しまして、必要な指導、助言もしくは援助を行うこととなっております。統治は、そこには含まれてはおりません。 今後も市町村教育委員会とは、お互いに連携しながら本県教育の推進に取り組んでいくつもりでございます。	教育政策課	
28	市町村教育委員会	教育現場の課題解決に向け、県教育長と市町村教育長が議論する場があるのか伺いたい。	齊藤 了介	志誠会	R5	9	教育現場の諸課題の解決に向け、県教育委員会と市町村教育委員会とが連携を密にすることは大変重要であると考えております。 このため、例年、市町村教育委員会連合会と二度に亘り意見交換を行ったり、翌年度事業に関して、市町村教育長と情報共有を図るなどしております。 この他にも、教育次長が全市町村の教育長を訪問し、教育課題について議論するなど、連携を深めているところであります。 また、今年の7月には、私自身が、市町村教育長の代表者と喫緊の課題である部活動の地域移行や不登校対策について意見交換をしたところであります。 今後も、市町村教育委員会と更なる連携を図りながら、教育現場の課題解決に取り組んでまいります。	教育政策課	
29	疾病対策	学校における熱中症の現状と対策について伺いたい。	野崎 幸士	自由民主党	R5	9	学校では、これまでも熱中症対策としましては、暑さ指数の測定による活動の判断や運動量の調整、健康観察、適切な水分・塩分の補給等、子どもの命を守るための取組を行ってまいりました。 さらに、昨今の気候変動にも鑑み、県教育委員会では、昨年6月に、「学校における熱中症対策ガイドライン」を作成し、周知しております。 そのような中、昨年度は2件、熱中症による緊急搬送がありました。いずれも軽度の症状で、その日のうちに帰宅しております。 これらの状況を踏まえ、今年度当初熱中症の事故防止やガイドラインの活用について、再度、通知をしております。 ちなみに、今年度の現時点では、この夏、1件の緊急搬送がありまして、改めて、二学期当初に通知をし、熱中症対策のさらなる徹底を図ったところであります。	スポーツ振興課	
30	人権教育 / LGBT	性的マイノリティの児童生徒から相談があった場合の対応について、マニュアル等の作成は進んでいるのか、また、当事者の声は反映されているのか伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	9	教職員が相談を受けた場合の対応マニュアル等につきましては、法律や個別の事情に配慮する必要性等を示した文部科学省の資料を踏まえ、現在、作成中であります。 また、県内で啓発、講演活動に取り組まれている当事者や関係の方々のご意見も参考にしながら、作成を進めてまいります。 併せまして、今年6月にいわゆる「LGBT理解増進法」の制定もありましたので、リーフレットの方も見直しております。 今後の計画といたしましては、リーフレットも含め年度内に作成を完了し、各学校へ配付いたします。次年度の初めには、管理職向けに説明、周知を行い、教職員に向けた研修にも取り組んでまいります。	人権同和教育課	
31	新聞配備	NIEの全国大会や県大会が開催されたが、どのような効果が期待されるのか伺いたい。	荒神 稔	自由民主党	R5	9	NIEは、子どもたちの社会への興味・関心を高め言語能力や情報活用能力など学習の基盤となる資質・能力を育成するものでありまして、ひいてはキャリア教育にもつながるものと考えております。 昨年度、本県で開催された全国大会では、県内外から2日間で延べ2,100人の参加がありパネルディスカッションや公開授業、実践発表等を通して新聞の効果的な活用が、今、国や県が推進している「主体的・対話的で深い学び」につながることを共有する機会となりました。 この全国大会をきっかけに本年8月、初めての県大会が開催され、本県におきましても、新たな一歩を踏み出したところであります。	義務教育課	

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課
32	新聞配備	県教育委員会として、NIEの良さをどのように広げていこうとしているのか伺いたい。	荒神 稔	自由民主党	R5 9	<p>県教育委員会では、NIE推進協議会と連携・協議しながらこれまで、延べ236校を実践校として指定しその効果的な取組は、県教育研修センターのホームページからも閲覧できるようになっております。</p> <p>また、今年度は、指定校やNIEアドバイザーの数を増やすことで、活動の広がりや充実を目指しております。</p> <p>さらに、先ほど述べました初めての県大会におきましては今年の全国大会の報告やアドバイザーの実践を共有でき、まさに、NIEを広く発信するための大変意義のある取組となったところであります。</p> <p>県教育委員会としましては、今後、NIEの実践が、指定校や担当者だけで終わる一過性のものではなく、広く、継続して行われるようしっかり取り組んでまいります。</p>	義務教育課
33	体力向上	県内の児童生徒の身長と体重の状況について伺いたい。	内田 理佐	未来の会	R5 9	<p>食育の観点からも健康で丈夫な体をつくることは、大切なことであります。</p> <p>令和3年度学校保健統計調査における児童生徒の身長と体重の本県の平均と全国順位につきましては、まず、小学6年生男子の身長は、146センチで18位、体重は41.2キロで6位、また、女子の身長は146.9センチで35位、体重は40.6キロで8位であります。</p> <p>次に、中学3年生男子の身長は、164.6センチで44位、体重は54.5キロで26位、また、女子の身長は155.6センチで45位、体重は51キロで5位であります。</p> <p>最後に、高校3年生男子の身長は、170.1センチで41位、体重は63.5キロで12位、また、女子の身長は156.8センチで45位、体重は52.6キロで24位となっております。</p> <p>県教育委員会といたしましては、これらのデータの活用には、いたっていないところであります。</p>	スポーツ振興課
34	読書・図書	読書の推進について、県の取組状況を伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5 9	<p>図書館は、地域住民の読書活動を支える拠点として、重要な役割を担っておりますが、市町村によっては、様々な支援が求められていると認識しております。</p> <p>そのため、県立図書館では、県内の図書館をネットワークで結び、相互に図書の貸し借りができる配送システムを構築するとともに、職員の専門性の向上を図る研修の実施などに取り組んでおります。</p> <p>引き続き市町村を支援するとともに、「電子図書サービス」の導入に向けた検討や、「みやぎ読書アンバサダー」に就任いただいた歌手の米良美一さんの活動などを通して県民が生涯にわたって読書に親しむ「読書県みやぎ」の取組を推進してまいります。</p>	生涯学習課
35	読書・図書	みやぎ読書アンバサダーに期待する役割について伺いたい。	岩切 達哉	県民連合立憲	R5 9	<p>県教育委員会といたしましては、これまで「読書県づくり」の取組といたしまして、どこでも本がある環境づくりや読み聞かせボランティアなどの人材育成を行ってまいりました。</p> <p>一方で、県民の皆様にも、読書の魅力をさらに伝えていくためには、一層の広報が必要であると考えております。</p> <p>このことから、歌を交えた読み聞かせ活動を行っていらっしゃる西都市民会館の館長・米良美一さんに「みやぎ読書アンバサダー」をお願いしたところであります。</p> <p>米良さんには、県主催のイベントなどを通して読書についての、これまでの御自身の経験や熱い思いを交えて読書の魅力を伝えていただきたいと考えております。</p> <p>この取組により、「読書県みやぎ」を広くPRできるものと、大いに期待しております。</p>	生涯学習課
36	読書・図書	県立図書館の施設設備について、老朽化の状況を伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5 9	<p>現在の県立図書館は4代目にあたり開館から35年が経過し、施設の老朽化が見られるところであります。</p> <p>具体的には、建物の壁にひび割れや、書庫の一部に雨漏りが見られたり、電気や空調、それを管理する中央監視盤にも、不具合が生じたりしております。</p> <p>そのため、現在、電気設備の更新を行っているところでありますが、今後も、その他の改善が必要な箇所につきましては、計画的に、対策を講じていきたいと考えております。</p>	生涯学習課
37	読書・図書	県立図書館における資料の保存状況について伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5 9	<p>県立図書館では、古文書や一般資料、フィルムなどを保存しており、それぞれの資料に応じて、適正な温度や湿度での管理に努めているところであります。</p> <p>しかしながら、歴史的価値のある16ミリフィルム等の郷土資料の中には、経年劣化により、例えば、昭和34年の「宮崎県政だより」に収められた映像など、視聴が困難なものも出てきております。県教育委員会といたしましては、今後とも、適正な保管の在り方について必要な検討をおこなってまいります。</p>	生涯学習課
38	読書・図書	県立図書館の収蔵能力の現状と、今後の対応について伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5 9	<p>現在、県立図書館は、約84万点の資料を収蔵しておりまして、毎年約1万4千点ずつ増えております。</p> <p>令和3年度に、書庫の収蔵能力についての実態調査を行った結果、令和13年度には96万点となり、上限に達すると想定したところであります。</p> <p>そのため、既存施設の活用や書庫の増設、資料のデジタル化など、あらゆる視点から、収蔵スペースの確保に向けた研究を行い、できるだけ早く方針を固めていきたいと考えているところであります。</p> <p>県教育委員会といたしましては、今後とも、利用者や時代のニーズを適切に把握し、県民の財産である、貴重な資料等を後世に残せるよう努めてまいります。</p>	生涯学習課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課		
39	読書・図書	「知の拠点」である県立図書館の役割の認識と、今後の施設整備について伺いたい。【知事】	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	9	<p>明治35年に開館した県立図書館、ご指摘のとおり、京都、秋田に次いで全国で3番目に古い、当時の教育関係者の情熱によるものでありますが、120年以上にわたって「知の拠点」として、県民の生涯の学びを支えるとともに、宮崎の歴史・文化を伝える上で重要な役割を担っているものと認識しております。</p> <p>私もよく、図書館を利用しておりますが、特集コーナーや新刊コーナーにどんな本が並んでいるか、それを拝見するのが楽しみでありますし、絵本が好きなものですから、子どもの本コーナーに入り浸って読むこともあります。親子連れて読み聞かせなどを行っている姿、大変いいもんだと思います。カウンターで本の貸し借りをしている日常的な風景に加え、参考書を横に置いて学んでいる学生の姿、また、展示された郷土資料などを見る方々などの姿を目にして、改めて図書館というものが、県民の皆様にとって大切な場所であると感じているところであります。</p> <p>本県は、子どもから大人まで、生涯にわたって読書に親しむ「読書県みやざき」づくりを推進しております。ただ今、様々な課題というものを指摘いただいたわけですが、しっかりと現場の声、実態というものを受け止めながら、今後とも、計画的に整備の検討を行うとともに、これまで以上に、県民に愛され、親しまれる図書館づくりを目指してまいります。</p>	生涯学習課	★
40	特別支援	特別支援学校の登校時間を早めることはできないか伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	9	<p>特別支援学校におきましては、登校時、保護者から引継ぎを受けた直後から、児童生徒一人一人の個性や障がいに対して職員が常に対応できる体制をとるため、それらをもとに、登校時間を定めております。</p> <p>登校時間を早めることにつきましては、一部の保護者からの要望があることは認識しております。</p> <p>一方で、登校時間を早めることは、遠方の児童生徒のスクールバス乗車時刻を早めることにつながったり、各家庭において、登校に向けた準備に要する時間が切迫するなど、児童生徒や保護者の負担加重につながることも懸念されます。</p> <p>このような状況をふまえますと、登校時間を早めることは困難であります。今後ともどのような支援ができるのか福祉等の関係機関とも情報を共有してまいります。</p>	特別支援教育課	
41	特別支援	訪問教育学級の現状について伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	9	<p>訪問教育においては、障がいの状態や入院治療等の事情により学校で教育を受けることが困難な児童生徒に対しまして、教員を派遣して教育を行っております。</p> <p>その場合、教員が児童生徒の家庭で行う場合と、入院する病院内で行う場合とがございます。今年度5月現在、県内7校の特別支援学校で、33名の児童生徒が訪問教育を受けておまして、そのうち、17名は家庭で、16名は入院する病院内で、学んでおります。</p> <p>訪問教育の授業時間については、学習指導要領において実情に応じて適切に定めることとなっております。本県では、児童生徒の体調の変化等に十分配慮しながら教員の移動時間や学級編制等の状況も踏まえ、小中学部は週に6時間、高等部は8時間を原則としております。</p>	特別支援教育課	
42	特別支援	訪問教育学級において、オンライン対応等により授業時間を増やすことはできないか伺いたい。	山内 佳菜子	県民連合立憲	R5	9	<p>訪問教育では、当該児童生徒の体調等により、対面では予定していた授業を受けられないことがあります。</p> <p>その際、児童生徒の体調の回復や治療の状況に応じてオンラインを活用して授業を行うなど、まずは予定していた授業時間の確保に努める必要があると考えております。実際コロナ禍におきましてはオンラインを活用して授業を行ってまいりました。</p> <p>今後は、入院前の在籍の小中学校等とつなぐなどオンラインの更なる活用も視野に入れ、授業時間の増加について研究してまいります。</p>	特別支援教育課	
43	特別支援／インクルーシブ教育	特別支援学級の設置数及び在籍児童生徒数について伺いたい。	函師 博規	無所属の会	R5	9	<p>本県の特別支援学級数と在籍する児童生徒数は、令和5年5月1日現在、小学校530学級、2,559人、中学校245学級、966人となっております。</p> <p>障がい種別では、主に、自閉症・情緒障がい、497学級、2,567人、知的障がい、268学級、948人です。その他、一人ずつの在籍ではありますが、肢体不自由が4、難聴が3、身体虚弱が2、弱視が1の学級数であります。</p> <p>また、10年前と比較しますと、小中学校の全児童生徒数が、1割減少する中、特別支援学級に在籍する子どもは、2.2倍に増加しており、多いところでは、特別支援学級が1つの学校に、8学級設置されるなど、急増している状況であります。</p>	特別支援教育課	
44	特別支援／インクルーシブ教育	特別支援学級及び通級による指導の適切な運用に係る文部科学省通知の趣旨と、趣旨が正しく伝わるための取組を伺いたい。また、学校現場では、どのような変化がみられたか伺いたい。	函師 博規	無所属の会	R5	9	<p>本通知は、特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、障がいの状況等に改善が見られ、通常の学級で多くを学ぶことができる場合には、通常の学級への在籍変更への検討を促すものであり、インクルーシブの理念を推進するために出されたものであります。</p> <p>県教育委員会では、通知の趣旨が正しく伝わるよう全ての市町村を訪問し、本通知の趣旨を丁寧に説明しております。また、各市町村の担当者を対象とした説明会を開き、正しい理解の周知を図るとともに、学校の職員や保護者に対しても、説明をお願いしたところであります。</p> <p>それにより、週の授業の半分以上を通常の学級で受けている児童生徒の割合は、昨年度の51%から13%へと改善され、教育的ニーズに的確に応じた教育がなされております。</p>	特別支援教育課	

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課	
45	特別支援／インクルーシブ教育	通知（特別支援学級及び通級による指導の適切な運用に係る文部科学省通知）の趣旨を実現するために、県は市町村と連携して、どのような取組を行うか伺いたい。	函師 博規	無所属の会	R5	9	本通知の趣旨は、インクルーシブ教育システムの構築・推進であります。県教育委員会といたしましては、その趣旨を実現するために、通常の学級に在籍しながら、障がいによる困難さの改善を図る、いわゆる「通級による指導」の拡充に取り組んでおります。また、授業のユニバーサルデザイン化を促進したり、学校全体で児童生徒の行動を認めて伸ばす例えば、挨拶を目標にして、できたら褒めて、定着させるいわゆる「スクールワイドPBS」の普及を進めております。これらは、すべていずれも、市町村と連携した取組であります。今後は、市町村が配置する特別支援教育支援員につきましても資質の向上に取り組むなど、市町村との連携のもと、本通知の趣旨の実現に取り組んでまいります。	特別支援教育課
46	日本語指導	日本語指導が必要な児童生徒への支援の現状と今後の対応について伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5	9	本県の公立小中学校における日本語指導が必要な児童生徒数は、令和5年3月末現在で、8市4町に76名在籍しております。このような中、県教育委員会といたしましては、約7割の、特に支援が必要な児童生徒に対しまして、国の加配を活用した日本語指導支援教員等を配置し、学習支援や通訳等のサポートを行っております。現在、支援の必要な児童生徒数は、増加傾向にあることから、今後は、対象となる全ての児童生徒の支援に向け市町村や関係機関等と協議会を設けるなど、効果的な支援の在り方について取組を進めてまいります。	義務教育課
47	働き方改革	学校における働き方改革の今後の取組について伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5	9	第二期「学校における働き方改革推進プラン」では、第一期に引き続き、教職員の業務改善と意識改革に取り組んでまいります。具体的には、まず管理職研修を一層充実させます。さらに、スクール・サポート・スタッフ等の活用や教育のDX化によって、長時間業務解消に取り組みます。また、部活動の地域移行に向けた指針の作成を含め、家庭や地域との役割分担の協議をさらに進めてまいります。10月実施の勤務状況調査においては、教職員の声をより今後の施策に反映させるため、教師のウェルビーイングの調査項目を新たに追加いたします。今後とも、学校における働き方改革に積極的に取り組んでまいります。	教職員課
48	部活動	県立高校の部活動における練習環境の整備について、どのように進めているか伺いたい。	齊藤 了介	志誠会	R5	9	佐土原高校男子テニス部のインターハイでの試合を、私も北海道の会場で応援してまいりましたが、頂点を必死に目指す姿に心から感動し、大変頼もしく感じたところであります。2027年の宮崎「国スポ」に向けましては練習拠点施設の整備を計画的に進めております。具体的には、県総合運動公園内の施設以外に県立高校にも整備しておりまして、昨年度までに延岡星雲高校のアーチェリー場と相撲場、宮崎工業高校の水球プールが完成し、今年度は8月に宮崎北高校の体操場が完成したところであります。このような整備は、高校の特色づくりにもつなげなければならないものであります。また、国スポの後も本県の一層の競技力の向上を支える施設でなければならないものと考えております。	スポーツ振興課
49	不登校	不登校児童生徒数が増加傾向にある中、特に小学生の増加の割合が顕著であると聞いているが、その現状と対策について伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5	9	本県の公立小学校における不登校児童数は、令和3年度は560人で、5年前と比較すると約2.7倍の増加となっております。県教育委員会では、児童生徒の悩みに対応するために、スクールカウンセラーなどの専門スタッフの配置・派遣や、24時間子供SOSダイヤル、SNS等による教育相談窓口を設置しております。学校では、校内教育支援センターでの支援、フリースクール等民間団体・施設との連携、ICT等を活用した学習支援など、多様な手立てを講じているところであります。令和4年度からは、新たに小学校専任のカウンセラーを配置しております。今後とも、市町村を支援しながら、小学校における不登校対策の充実に取り組んでまいります。	人権同和教育課
50	不登校	義務教育における不登校の子どもたちへの支援について、県内の状況を伺いたい。	後藤 哲朗	自由民主党	R5	9	義務教育における不登校児童生徒に対しましてはこれまで、段階的に学校に通えるよう教育支援センター、いわゆる、今、議員の方からご指摘がありました様な、適応指導教室を校外に設け一人一人の実態に合わせた学習指導や社会とのつながりを持つための社会体験等を支援してまいりました。一方で、新たに校内の空き教室を利用して、専任の支援員等を配置する校内教育支援センターの設置が市町において進んでおり、そこでは、自分に合ったペースで、学習・生活できる環境が校内にも整えられようとしております。今後とも、国の動向を注視し、それぞれの実態に応じた体制の整備を各市町村に支援してまいります。	人権同和教育課
51	文化財	西南戦争の遺跡に関するこれまでの取組について伺いたい。	内田 理佐	未来の会	R5	9	県教育委員会では、西南戦争関連遺跡の所在地や現状の把握と、今後の保存・活用を進めるために必要な情報収集を目的として、令和2年度から4年度まで現地での記録資料との照合等の基礎調査と、その中から、重要な遺跡は測量調査を実施いたしました。その結果、521基の土塁や塹壕などがみられる台場跡と、510基の墓地や慰霊碑等が把握され、それらの中には、延岡市の和田越台場群をはじめ、小林市や日向市、日之影町など県内の広い範囲で、他県には類例の無い、当時の形状を良好に残す貴重な遺跡が確認されたところであります。現地で出土した銃弾等の遺物を含む調査結果は、随時、地元市町村において展示会等を実施し、還元しております。	文化財課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年	期	答 弁	担当課
52	文化財	西南戦争終結150年目となる令和9年度に向けた取組について伺いたい。	内田 理佐	未来の会	R5	9	<p>県教育委員会といたしましては、西南戦争終結150年目となる令和9年度の国の史跡指定をめざし、本年度より、文化資源としての価値をさらに高めるため、これまでの調査成果に基づき、さらに詳細な調査を実施しているところであります。</p> <p>西南戦争関連遺跡は、何より西南戦争が、本県の分県運動に繋がったという点でも、日本の近代史上において、本県にとっても大変重要な出来事の証であります。</p> <p>今後、ここ宮崎県に残された、これらの貴重な歴史の痕跡を後世につなぐため、関係自治体等とも連携しながら、博物館等で展示会を開催するなど、さまざまな活用に取り組んでまいります。</p>	文化財課
53	防災・安全教育	自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務となっているが、高校生のヘルメット着用の現状と学校の取組について伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	R5	9	<p>4月以降、学校からは、自主的にヘルメットを着用する高校生の姿が少しずつ増えてきたとの報告を受けております。</p> <p>県教育委員会ではヘルメット着用を促進するための3年計画の初年度として今年度を着用周知期間と位置づけ、学校への啓発や講演会を実施するなどの取組を行っております。</p> <p>各県立高校では生徒会による意識調査やPTAからの着用の呼びかけ中学校から高校まで使用できるヘルメットの導入を中学校と協議するなど学校の実態に応じた取組が始まっております。</p> <p>県教育委員会といたしましては生徒によるルールメイキングを大切にし校則等への位置づけも含め生徒が自ら命を守る行動ができるよう引き続きしっかり支援してまいります。</p>	人権同和教育課